

令和2年度 学校評価アンケートより

2学期末、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。いくつかの項目を抜粋して考察しました。本校の教育活動を改善していく指標として、活用していきたいと思えます。

<学校生活について>

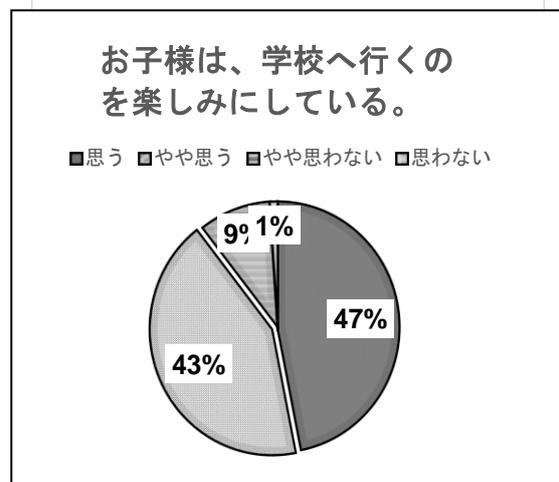
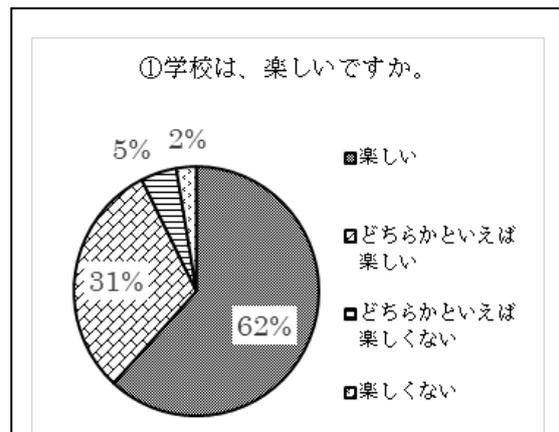
子どもたちへの「学校は楽しいですか。」との質問に対して、肯定的な回答をした割合は、昨年度と変わらず、93%でした。しかし、「楽しい」と回答した割合のみに着目すると、昨年度の67%から、5ポイントのマイナスとなっています。

これは、休校期間による授業時数の不足や、感染症対策で、行事や活動が中止や縮小となり、また、三密を防ぐ日常により、授業や休み時間の活動に制限が加えられ、学校生活の魅力が減っていることが起因していると考えられます。

保護者の方への「お子様は学校へ行くのを楽しみにしている。」の質問では、「思う」と回答した方の割合が、昨年度の49%から2ポイント下がって47%になっています。

子どもたちが家庭で学校の話をする時に、感染症対策により、楽しい話題が少なくなっているのではないかと考えられます。

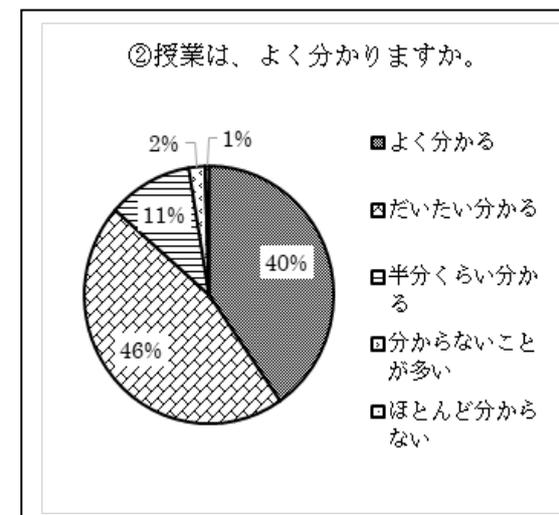
感染症対策は今後も続いていくと予想されますが、日々の状況を見ながら、子どもたちが生き生きと学習や活動に取り組めるように努めていきます。



<授業について>

子どもたちへの「授業はよく分かりますか。」との質問に対して、「よく分かる」の回答が昨年度より1ポイント上がり40%に、「だいたい分かる」が昨年度より3ポイント上がり46%になりました。

学校再開当初、3か月間の休校によって授業時間数は不足していました。行事の縮小や中止により授業時間数を確保し、効率の良い学習を工夫しながら進めてきました。その結果授業の進度も戻り、子どもたちの授業に対する意識もおおむね良好な状態を保てていると考えられます。

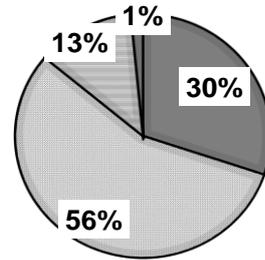


保護者の方への「お子様は授業が楽しくわかりやすいと言っている。」の質問では、「思う」と回答した方の割合は昨年度より2ポイント上がって30%となっています。しかし、「やや思う」と回答した方の割合は昨年度から6ポイント下がり56%になっています。

保護者の方から頂いたご意見の中には、家庭学習や自主勉強のやり方で困っているケースもありました。授業内容に対する理解度が上がっても、定着度が上がらなければ学力としては不十分です。定着度を上げるための手立てを講じていきたいと思えます。

お子様は、授業が楽しくわかりやすいと言っている。

■思う ■やや思う ■やや思わない ■思わない



<メディアについて>

子どもたちへの「携帯電話やスマートフォン、タブレットを持っていますか。」との質問に、「自分のものを持っている」と回答した割合は、昨年度より6ポイント上がって43%でした。

子どもたちの会話の中にも、「SNS」や「対戦ゲーム」関連の言葉がよく聞かれます。また、「動画」を見ることが好きな小学生も増えています。

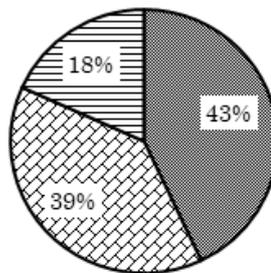
子どもたちのネット利用について、大人が現状をしっかりと把握し、ルールや利用する上での注意を確認した上で、メディアを活用させていきたいと考えます。

⑮携帯電話やスマートフォン、タブレットを持っていますか。

■自分のものを持っている

■家族共用のものを持っている

■持っていない



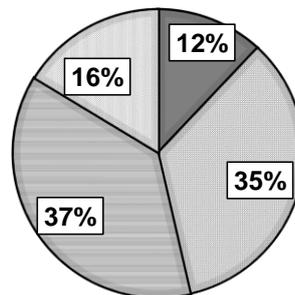
保護者の方への「家庭では、お子様の電子メディアを使用する時間が、1日1時間30分以内に収まるようにしている。」の質問では、「思う」「やや思う」と肯定的に回答した方の割合が、昨年度の65%より18ポイント下がり47%となっています。

子どもたちのスマートフォンやタブレットなどの使用時間が増えている傾向が読み取れます。

本校が毎月行っている「アウトメディアチャレンジ」を活用し、メディアとの適切な距離が保てるよう、ご家庭でお取り組み頂ければと思います。

家庭では、お子様の電子メディアを使用する時間が、1日1時間30分以内に収まるようにしている。

■思う ■やや思う ■やや思わない ■思わない



その他の質問に対する回答の集計は、近日中に本校ホームページにアップします。そちらもぜひご覧ください